

令和4年度 自主文化事業一覧

令和4年度 自主文化事業実施報告									
	事業名	開催形式	実施日時	発売月日	会場	対象 /定員	チケット料金	入場者数 (入場率)	備考 〔チケット販売枚数(当月末時点) または申し込み人数〕
まちづくり	講座「コンサートの作り方」	主催	①6月10日(金) ②6月17日(金)	—	県立逗葉高等学校	1年生	—	—	28名受講
社会的包摂	親子で楽しむクラシック名曲コンサート こどもオペラ 3匹のこぶた	主催	7月9日(土) 14:00開演	6月6日(日)	なぎさホール	551名	全席指定 おとな 前売1,500円 (当日1,800円) こども 前売500円 (当日800円)	519名 (94.2%)	招待11名含む 最終券売数：540枚(完売) *0才からチケット必要
トモイク	絵本作家 山本省三さんと 一緒に絵本をつくろう2022 こどものための手作り絵本講座 おとなのための手作り絵本講座	主催	こども： 7月30日(土) 8月1日(日) 3日(水) 15日(月) おとな： 11月26日(土) 12月3日(土) 17日(土)	こども： 5月14日(土) おとな： 9月24日(土)	さざなみホール	小学生以上 /70名 中学生以上 /35名 オンライン /60名(各 回20名)	参加費 リアル 2,000円 オンライン 1,000円	こども：70名 (100.0%) おとな：36名 (102.8%) オンライン：36名 (60.0%)	*先着順 *オンライン受講者の材料は別途 200円で購入可 *こども：午前35名、午後35名、オンライン25名 *おとな：36名、オンライン11名
鑑賞	渡辺香津美×沖仁	主催	8月6日(土) 14:00開演	4月24日(日)	なぎさホール	533名	全席指定 一般 4,500円 高校生以下 2,500円	509名 (95.5%)	招待7名含む 最終券売数：523枚(完売) *未就学児入場不可
トモイク	手作り絵本のミニ展覧会	主催	こども： 8月25日(木) ～28日(日) おとな： 1月27日(金) ～30日(月)	—	ギャラリー	—	—	こども：139名 おとな：319名	こども：13作品展示 おとな：16作品展示
まちづくり	アウトリーチ アート便2022	主催	9～3月開催	—	市内小中学校	—	—	①77名 ②127名 ③118名 ④156名 ⑤120名 ⑥167名 ⑦60名 ⑧68名 ⑨169名 ⑩119名 ⑪103名 ⑫90名	和太鼓(和太鼓グループ彩-sai-) ①9月1日(木)小坪保育園(1) ②9月2日(金)逗子小学校5年生(1) ③11月22日(火)久木小学校6年生(1) ④11月29日(火)沼間中学校2・3年生(2) ⑤12月5日(月)逗子中学校2年生(1) ⑥3月14日(火)久木中学校2年生(1) 太神楽(翁家勝丸) ⑦9月7日(水)湘南保育園(1) ⑧11月21日(月)小坪小学校6年生(1) ⑨2月22日(水)久木中学校3年生(1) ⑩3月6日(月)逗子中学校3年生(1) 落語(三遊亭わん文) ⑪9月20日(火)池子小学校3・4年生(1) ⑫11月2日(水)沼間小学校5年生(1)
まちづくり	【共催】交流センターフェア2022 県立逗葉高等学校 軽音楽部・吹奏楽部 発表会	共催	9月10日(土)	—	なぎさホール	555名	全席自由 入場無料	178名 (32.1%)	
鑑賞	逗子落語会 林家たい平・桃月庵白酒 二人会	主催	9月11日(日) 14:00開演	6月10日(金)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	381名 (69.1%)	招待2名含む 最終券売数：393枚 *未就学児入場不可
社会的包摂	初心者向け手話体験ワークショップ	主催	9月17日(土) 14:00開演	8月17日(水)	さざなみホール	25名	参加費 500円	7名 (28.0%)	最終申込数：9名 *未就学児入場不可



令和4年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
4月	◆4月24日 チケット発売 「親子で楽しむクラシック名曲コンサート こどもオペラ 3匹のこぶた」 「渡辺香津美×沖仁」	10時より市民先行販売、13時より一般発売を行った。 「こどもオペラ」公演は、発売初日に155枚の予約があった。4月までの予約枚数は、209枚となっており、子ども向け公演としては、好調のスタートである。 「渡辺香津美×沖仁」公演は、発売初日に予約枚数256枚と発売初日に約半数近くの予約があった。4月までの予約枚数は、307枚となっている。こちらの公演も好調のスタートとなっており、引き続き広報を行い完売を目指す。
5月	◆5月14日 募集開始 「こどものための手作り絵本講座」	毎年人気の子どものための手作り絵本講座の募集を開始した。今年は自宅でも受講もできるよう、オンライン講座も同時に募集開始した。市内小学校へ全校配布も行ったが、市外からの参加者も呼び込むため、引き続き広報に注力する。5月末時点で施設・オンライン受講含め63名の申込となっている。
6月	◆6月10日 チケット発売 「逗子落語会 林家たい平・桃月庵白酒 二人会」 「HANDSIGN 手話パフォーマンスLIVE」	10時より市民先行販売、13時より一般販売を行った。 9月の逗子落語会では林家たい平氏と桃月庵白酒氏による二人会を開催、10月に歌、ダンス、手話でのパフォーマンスを行う2パフォーマンス「HANDSIGN」によるLIVEを開催する。 引き続き広報を行い、券売に努める。
	◆6月10、17日 『講座「コンサートの作り方」』開催	県立逗葉高等学校1年生の総合的な探究時間におけるワークショップの1講座として28名の生徒が本講座を受講。講師として、事業課担当と舞台技術担当が務めた。 1日目には、ホールの紹介やコンサートができるまでの公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目にグループに分かれ好きなアーティストの公演を制作するワークショップを行った。 昨年度よりも参加生徒が増え、興味を持った生徒が多数いた。 今年は9月に交流センターフェアにて希望の講座受講者に舞台裏体験をしていただく。
	◆6月18日 「みんなでアートワークショップ①」開催	共催「みんなでアート」のワークショップ第1回目として、宮澤氏による古着リメイクのワークショップをギャラリーおよび1階ホワイエにて開催した。今回は古着を選び、デザインを行った。
7月	◆7月9日 「こどもオペラ 3匹のこぶた」開催	今年度初めての主催公演として、ファミリー向けの0才から入場できるオペラ公演を開催した。チケット発売日からチケットの売れ行きが好調で、チケット完売後も問い合わせが多数あった。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一緒に踊ったりする演出はできなかったものの、上演中は一緒に手拍子をしたり、楽しんでいる様子が見られた。 アンケートの感想においても「満足」「やや満足」が占めており、「楽しかった」「またこどもオペラを開催してほしい」「知っている曲があると楽しそうにしていた」など好評の感想をいただいた。 途中での入退場が可能であることなど、気軽に楽しめるファミリー向け公演が求められていることがアンケートからも伺えた。今後も気軽に足を運んでいただけるような、ファミリー向けの公演を開催していきたい。 新型コロナウイルス感染症が拡大してからチケット完売の公演が少なかったが、再び感染者数が増加している中ではあったが、多くの方にご購入、ご来場いただくことができた。
	◆7月9日 「みんなでアートワークショップ②」開催 ◆7月23日 「みんなでアートワークショップ③」開催	共催「みんなでアート」のワークショップ第2回目、3回目として、宮澤氏による古着リメイクのワークショップをギャラリーおよび1階ホワイエにて開催した。 第2回は第1回目に参加した方のソーイングワークを行った。 第3回は新たな参加者によるデザイン画制作や古着のセレクトを行った。 アートパネルでは、絵を見て色布地を貼るパネルも設置し、通りすがりの方も参加いただけるコーナーを設け、より誰でも楽しめるワークショップとなった。
	◆7月29日 「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 事前指導①」	1月21日(土)に開催する「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 Vol.4」にて和太鼓グループ彩-sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への1回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 和太鼓、音楽についての座学や基礎、共演曲の練習や練習方法の指導を行った。
	◆7月30日 「こどものための手作り絵本講座 第1回」	今年も逗子市在住の絵本・童話作家の山本省三氏を講師として迎え、「こどものための手作り絵本講座」を開講した。 午前、午後枠ともに定員に達し、キャンセル待ちを受け付けた。今年度も低学年の参加が多く、兄弟での参加も数組みられた。今年度はリアル受講とオンライン受講のハイブリットにて開講し、午前14名、午後11名が受講した。 今年は8月25日(木)から28日(日)にギャラリーにて作品制作の展示を予定している。
8月	◆8月1日 「こどものための手作り絵本講座 第2回」開催 ◆8月3日 「こどものための手作り絵本講座 第3回」開催 ◆8月15日 「こどものための手作り絵本講座 第4回」開催	第2回目は、第1回目での仕掛けなどを考えながら、絵本の下書き作業などを進めていった。 第3回目は、下書きをもとに本番の画用紙で絵本の中身づくりを行った。第1回目ですんだしつけを取り入れたり、クレヨンを重ねて作画をするなど、先生からアドバイスをもらいながら真剣に取り組む姿、つくりたい絵本をどうすればうまく表現できるか、先生に質問を投げかけながら、絵本作りを進めていった。 最終の第4回目は、完成した画用紙を貼り合わせ、絵本に仕上げていく製本作業を行った。低学年にはやや難しい作業もあったが、保護者やホールスタッフのサポートを受けながら、作業を進めていった。絵本が完成すると、会場では「やり遂げた」という満足そうな笑顔が見られ、大事そうに絵本を持ち帰っていた。 はじめてオンライン受講を行い、配信中に音声が届かなかったことが発生したが、当日中に音声が届いた部分を限定配信し、不具合時のフォローも行った。 低学年の参加が半数以上で、アンケートでは、「仕上がりに満足した」や「また参加したい」との意見をいただいた。
	◆8月6日 「渡辺香津美×沖仁」開催	世界に誇るトップ・ジャズ・ギタリスト渡辺香津美氏とフラメンコギター・国際コンクール国際部門で日本人として初めての優勝の快挙を成し遂げた、世界最高峰のフラメンコギタリスト沖仁氏による異なるジャンルのトップギタリストによる共演を開催した。渡辺氏は平成29年度、沖氏は平成31年度ぶりの公演となり、二人での共演ははじめてとなった。 逗子での思い出などを語りながら、渡辺氏の使用している楽器が逗子で製作されたものを使用していることなど、演奏だけでなくトークでも楽しんでいたという内容となった。 それぞれのファンの方をはじめ、発売初日からチケットの売れ行きが好調で、公演日前に完売となった。 当日は沖氏が葉山町に住んでいらっやったこともあり、来場者の半分以上は市内と葉山町にお住まいの方であった。アンケートでは「満足」「やや満足」の回答をいただき、内容も好評で「また観たい」という意見も多くいただいた。 また、今回環境配慮SDGsの取組みとして、自主事業開催時間内で使用した電力を、再生可能エネルギーに置き換える「カーボンオフセット」を導入し実施した。

令和4年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
8月	◆8月25日～28日「手作り絵本のミニ展覧会」開催	7月から全4回開催した「絵本作家 山本省三さんと一緒に絵本をつくろう2022 こどものための手作り絵本講座」の参加者の中から希望者の作品13点を展示した。そのうちの2作品はオンライン受講者の作品だった。いろいろなしなやかな絵本やコラージュを用いた絵本、構図に工夫を凝らした絵本など、バラエティ豊かな絵本がギャラリーに並んだ。 来場者は、4日間で139名が来場し、昨年(110名)を上回った。「世界に1つだけの絵本」を大事そうに手に取りながら楽しんでいる様子が見られた。 今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、絵本に触れる前にアルコール消毒をお願いするなど対策を行って実施した。
	◆8月29日「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 事前指導②」	1月21日(土)に開催する「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 Vol.4」にて和太鼓グループ彩-sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への2回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 前回の共演曲の練習を中心に行った。
9月	◆9月3日「みんなでアートワークショップ④」開催 ◆9月17日「みんなでアートワークショップ⑤」開催 ◆9月23日「みんなでアートワークショップ⑥」開催	共催「みんなでアート」のワークショップ第4回目、5回目として、宮澤氏による古着リメイクのワークショップをギャラリーおよび1階ホワイエにて開催した。 第4回は新たな参加者によるデザイン画制作や古着のセレクトを行った。 第5回は第4回に参加した方へのソーイングワークを行った。 アートパネルでは、絵を見て色布地を貼るパネルも設置し、通りすがりの方も参加いただけるコーナーを設け、より誰でも楽しめるワークショップとなった。 第6回は薬王寺太一氏による縄文土器ワークショップを開催した。小学生から大人までの24組の方が参加し、講師からの説明・アドバイスを受け、色々な形の土器を作成していた。11月に野焼きし11月22日(火)から24日(木)に開催する「みんなでアート2022」のギャラリー展示にて展示を予定している。
	◆9月10日「交流センターフェア2022」開催	市民交流センター主催の「交流センターフェア2022」にて「県立逗葉高等学校 軽音楽部・吹奏楽部 発表会」をなぎさホールにて開催した。 新型コロナウイルス感染症の影響で発表の場を失っていた2組の部活動による発表会を実施した。ホールの楽器や機材を使用でき、普段なかなか大きいステージに立つ機会の少ない生徒にとっては貴重な時間となった。 また、同時に6月に実施した県立逗葉高等学校への「講座『コンサートのつくりかた』」の授業を受けた有志生徒2名が舞台裏体験者として、本発表会の音響、照明を担当した。当日の朝から舞台裏ツアーを行い、普段入ることのできない「ビュルーム」や「シーリングルーム」への案内や、調整室では、実際に機材に触り、本番もオペレーション体験をしていただいた。「スタッフの大変さを知ることができた」や「普段入ることのできないところに入ることができ、貴重な体験ができた」と満足の高い催しとなった。
	◆9月11日「逗子落語会 林家たい平 桃月庵白酒 二人会」開催	今年の逗子落語会は「笑点」でお馴染みの林家たい平師匠と桃月庵白酒師匠のお二人を迎え開催した。 前座は桂枝平氏が務め、テンポ良く歯切れがよい語り口調で「道具屋」を披露し場をあたため、桃月庵白酒師匠が勢いと安定感のある枕で笑いを誘い、南町奉行と江戸の街中でお奉行ごっこをしている子どもたちとのやりとりが面白い「佐々木政談」を披露した。 仲入り後、色物は林家たい平師匠の一番弟子である林家あずみ氏が三味線漫談を披露した。 最後に林家たい平師匠が登場し、「笑点」の裏話などの枕で観客を盛りあげ、「青菜」を披露。そして、コロナ禍でも今回足を運んでくださった観客の方々の健康を祈って、身体を張った火花の演技で終演した。 アンケートでは、「とても楽しかった」、「またやってほしい」といった満足の声があがった。60代以上の方が多く来場され、今後若い年齢層のお客様にも来ていただけるよう、工夫をしていきたい。
	◆9月17日「初心者向け手話体験ワークショップ」開催	神奈川県聴覚障害福祉センターより手話講師2名を招き、10月2日開催の「HANDSIGN 手話パフォーマンスLIVE」公演に向け、聴覚障がいに関する基本知識の講義や、あいさつや会話などの手話実践、HANDSIGNの曲に合わせて手話を行うカリキュラムを開催し、7名が参加した。 講義では、聴覚障がい者の方が困っていることや障がいの種類などを、ろう講師の説明を手話通訳を介しながら説明いただいた。手話の実践では、参加者全員の自己紹介を手話で実践し、参加者は笑顔で手話を実践していた。身近な名前を手話で表現することで、手話への距離感が近くなった印象であった。質疑応答の時間にも多くの質問が上がり、アンケートでも手話を継続してやってみたいというコメントもあった。今回のワークショップをとおして、参加者の方には聴覚障がいに関する知識や理解を深め、手話に対して興味を持っていただくことができた。
	◆9月24日 募集開始 「おとなのための手作り絵本講座」	毎年人気の大人向けの手作り絵本講座の募集を開始した。今年子ども向け同様、自宅でも受講もできるよう、オンライン講座も同時に募集を開始した。市内や近隣市町村から施設受講に参加いただけるよう広報に注力していく。9月末時点で施設・オンライン受講含め25名の申込となっている。
	◆9月26日「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 事前指導③」	1月21日(土)に開催する「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 Vol.4」にて和太鼓グループ彩-sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への3回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 共演曲の練習および演奏曲目の相談会を行った。
10月	◆10月2日「HANDSIGN 手話パフォーマンスLIVE」開催	平塚市出身の手話パフォーマーであるHANDSIGNの公演を初めて開催した。 自身のオリジナル楽曲やカバー曲を中心に披露し、サポートメンバーとしてギタリストとダンサー2名(1名は難聴者)を加え開催した。出演者自身が手話を交えながらMCを行ったほか、歌詞の振付けや手話のレクチャーもあり、観客も一緒に盛り上がった。また、神奈川県聴覚障害福祉センターへ手話通訳者と要約筆記者の派遣依頼をし、手話通訳はホワイエでの聴覚障がい者へのフォローや諸注意事項のアナウンスを手話通訳、要約筆記はMCや歌唱曲の歌詞の要約を行った。 今回の公演は、障がいがある方が多く来場され、ホワイエでは手話通訳者と会話をする様子も見られた。アンケートからも手話通訳と要約筆記について大変好評だった。 他公演と同様の広報では券売が伸び悩み、障がい者関係施設へ配布するだけでなく、フォローが必要だと感じた。
	◆10月8日 共催 逗子アートフェスティバル2022 「逗子アートフィルム上映会」開催	「逗子アートフェスティバル2022」の最初の催しとして、「逗子アートフィルム上映会」を開催した。 7名の逗子に縁のある映像作家の新作短編映画、ドキュメンタリー、アニメーションの上映および3名の作家による上映舞台挨拶を開催した。40～50代の来場者が多く、72名の方にご来場いただいた。アンケートから半数の方が逗子アートフェスティバルへの参加が初めてであり、催しをきっかけにアートフェスティバルのことも知っていただく機会となった。 また、上映会開演前には、「逗子アートフェスティバル オープニングイベント」として、市長、実行委員長、共同代表の3名から挨拶をいただいた。
	◆10月25日「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 事前指導④」	1月21日(土)に開催する「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演 Vol.4」にて和太鼓グループ彩-sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への4回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 共演曲の練習のほか、舞台上に立つ上でのパフォーマンスの仕方のレクチャーを行った。

令和4年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
10月	◆電子チケット・クレジットカード決済の導入	1月21日(土)「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.4」公演のチケット販売より、電子チケットとクレジットカード決済を導入した。今年度は今後発売のなぎさホール公演にて導入を予定している。
11月	◆11月2日 「アート便2022(落語)」実施	今年度のアート便5校目として、沼間小学校5年生を対象に「落語」を提供し、講師には三遊亭わん丈氏を迎えた。「牛ほめ」や「お見立て」などの演目を披露するなど、枕で様子を伺いながら、演目を披露した。体験コーナーでは4名が参加し、「そばをすする」しぐさなどを体験した。
	◆11月5日 チケット発売 「山田姉妹ソプラノデュオコンサート」 「若手演奏家シリーズ #12 SHURE」 「ふしぎの国のアリス」	2月に開催する3公演「山田姉妹ソプラノデュオコンサート」、「ふしぎの国のアリス」は、10時より市民先行販売、13時より一般販売、「若手演奏家シリーズ」は10時より販売を行った。広報大使である山田姉妹のお二人によるコンサート、若手演奏家シリーズでは県立逗子高等学校を卒業した演奏家を中心とした木管五重奏、ふしぎの国のアリスでは0歳から入場可能な影絵劇を開催する。引き続き広報を行い、券売に努める。
	◆11月12日 共催 逗子次世代育成プロジェクトVol.2 「和太鼓×尺八×ピアノ Session Live」開催	逗子次世代育成プロジェクト第2弾として、「和太鼓」、「尺八」、「ピアノ」による公演を開催した。和太鼓はプロ和太鼓奏者の葛西啓之氏、尺八は尺八奏者、作曲家である中村明一氏、ピアノは鎌倉市出身、逗子在住のジャズピアニスト、スガダイロー氏の3名でお届けした。各個人のソロやジャズへ編曲した楽曲、この公演のために作曲した曲などを披露した。アンケートからは「素晴らしい」との声が多く聞かれた。また、前日には葛西氏による「和太鼓ワークショップ」を開催し、9名が参加した。和太鼓の歴史等も交えながら、太鼓のたたき方のレクチャーを行った。満足の声が多く聞かれ、翌日の公演がより楽しめるような1時間30分の内容であった。次年度以降も、逗子にゆかりのある方や逗子の歴史などを用いた内容での開催を予定している。
	◆11月22日～25日 共催 逗子アートフェスティバル2022 「みんなでアート2022」開催	逗子アートフェスティバル最終日として、Bowlineプロジェクト主催の「みんなでアート2022」を開催した。障がいのある人もない人も、大人から子どもまでが参加した。22～25日にギャラリーで作品展示、24、25日になぎさみホールでステージイベントを行った。ギャラリーで開催した「みんなでアート展示」では、9月に開催した縄文土器ワークショップの作品や海のゴミアートをはじめ、たくさんの方の作品を展示し、4日間で延べ約270名の方にご来場いただき、多くの方に作品を見ていただくことができた。ステージイベント初日には「サステナブルファッションショーとみんなでミュージック&ディスコ」を開催。市長挨拶やSLOW CIRCUSの講師が小坪小学校4年生や大人、障がい者を対象に障がい者と健常者が垣根なくまじりあうことを目的としたワークショップを実施した。その後、自閉症がある塚原広介氏によるピアノコンサートやダンスショー、サステナブル・ファッションショー、フレンドリー楽団によるコンサート、みんなで80Sディスコを開催した。ステージイベント2日目の冒頭では逗子アートフェスティバル2022クロージングイベントとして、市長、逗子アートフェスティバル実行委員長より閉幕の挨拶があった。「みんなでファッションショー2022 with Dance」では、トークショーやダンスショーを開催した。
	◆11月21日 「アート便2022(太神楽)」実施	今年度のアート便6校目として、小坪小学校6年生を対象に「太神楽」を提供し、講師には翁家勝丸氏を迎えた。太神楽の歴史や技の説明を交えながら、太神楽の基本となる「立てる」「投げる」「回す」から、それぞれ曲芸を披露した。
	◆11月22日、29日 「アート便2022(和太鼓)」実施	22日は今年度のアート便7校目として、久木小学校6年生を対象に、29日はアート便8校目として、沼間中学校2・3年生を対象に「和太鼓」を提供し、講師には和太鼓グループ彩 -sai-を迎えた。曲中に手拍子をして盛り上がるなど生徒が積極的に参加する姿も見受けられ、満足度の高い催しとなった。
12月	◆11月22日 「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導⑤」	1月21日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.4」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への5回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。共演曲の表現の仕方の練習を中心に、舞台上に立つ上でのパフォーマンスの仕方のレクチャーを行った。12月16日掲載予定のタウンニュース逗子・葉山版の取材も行った。
	◆11月26日 「おとなのための手作り絵本講座 第1回」開催	逗子市在住の絵本・童話作家の山本省三氏を講師として迎え、「おとなのための手作り絵本講座」を開講した。「こどものための手作り絵本講座」と同様に、施設受講とオンライン受講のハイブリッドにて開講し、施設受講は定員に達し、キャンセル待ちを受け付けた。オンライン受講は、11名の申込みがあった。第1回目は、ストーリーの組み立て方や仕掛けづくりなどを学び、自分が作りたい絵本のイメージを膨らませた。制作した参加者の絵本は、1月27日から30日にギャラリーにて展示を予定している。
	◆12月3日 「おとなのための手作り絵本講座 第2回」開催 ◆12月17日 「おとなのための手作り絵本講座 第3回」開催	第2回目は、絵本の構図の取り方、表現方法などを学び、絵本の下書きや絵本の中身づくりの作業を行った。参加者は熱心に作業を進め、講師への質問も多かった。最終の第3回目は、絵本に仕上げしていく製本作業を行った。背表紙をしっかりと揃えて貼り合わせるなど、注意事項を確認しながら各自作業を進めた。最後には製作した絵本のミニ発表会を実施した。今年は、手元カメラを用いて、発表者の絵本の中身を他の受講者にも見えるよう工夫し、「可愛い絵だね」などの感想が聞こえ、これまで以上に一体感のあるミニ発表会となった。こどものための手作り絵本講座に引き続き、オンライン受講を行った。配信に関する課題は多いが、オンライン受講者も施設受講に近い環境を提供できるよう、次年度につなげていきたい。1月中旬には市立図書館でのおはなし会、同月下旬にはギャラリーで展覧会およびホール紹介絵本の原画を展示する「はじまるはじまる原画展」の開催を予定している。またアンケートでは、「絵本講座を続けて欲しい」と「素敵な講座だった」との意見をいただいた。毎年、人気の講座のため、次年度は欠席者へのフォロー充実度や講座の進捗状況を見ながら配布物を配布し、より良い講座内容を提供できるよう努めていく。
◆12月5日 「アート便2022(和太鼓)」実施	今年度のアート便10校目として、逗子中学校2年生を対象に、「和太鼓」を提供し、講師には和太鼓グループ彩 -sai-を迎えた。真剣に演奏に聴き入る様子や、曲中に手拍子をして盛り上がるなど生徒が積極的に参加する姿も見受けられ、満足度の高い催しとなった。	
◆12月9日 チケット発売 「TSUKEMEN CONCERT the BEST」	3月に開催するWヴァイオリンとピアノの3人組ユニットによる公演のチケット販売を、10時より市民先行販売、13時より一般販売を行った。初日には72件(132枚)の予約があった。引き続き広報を行い、券売に努める。	

令和4年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
12月	◆12月17日 共催 逗子次世代育成プロジェクトVol.3「逗子 潮風芸術祭2022」開催	逗子次世代育成プロジェクト第3弾として、アカペラグループINSPI、和太鼓奏者 葛西啓之氏、フラメンコギタリスト 東川翼氏、和太鼓グループ彩 -sai- 酒井智彬氏、パーカショニスト 容昌氏の計10名による公演を開催した。 令和5年度に再編統合する「逗子葉山高等学校」の校歌をINSPI杉田氏と在校生によるワークショップにて制作し、お披露目公演を行った。 各団体によるパフォーマンス後、逗子高等学校、逗子高等学校、逗子葉山高等学校の3校の校歌を披露し、最後には各団体の演目を出演者全員バージョンにアレンジを行い、披露した。 アンケートからは「またこの組み合わせで見たい」や「ファンの垣根を超えて他ジャンルを楽しむことができた」など満足の声を多くいただいた。 3月25日開催の「トモイクフェスティバル2023」において、校歌ができるまでの過程を撮影したドキュメンタリー映像の上映を予定している。
	◆12月27日 「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導⑥」	1月21日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.4」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への6回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 共演曲の練習や構成、立ち位置の確認、逗子開成高等学校のみでの出演曲目の練習を行った。
1月	◆1月14日 「さざなみ亭落語会 三遊亭わん丈&みんなで 其の六」開催	昨年に引き続き、三遊亭わん丈氏によるさざなみ亭落語会を其の六と題して開催。内容も昨年同様、お客様からお題をいただき一席を創る三大噺企画や、事前投票により当日演目を決定する企画も開催し、逗子オリジナルの落語会として開催した。 前座は、柳家しる八氏が務め、「たけのこ」を披露。観客から笑いをとりながら、勢いをつけた。続いて、三遊亭わん丈氏が登場。ここ一年であった話などを交え、笑いを誘ったのち、事前投票の演目から投票数の多かった「匙加減」を披露した。続いて、創作落語を披露した後、「みんなで創る落語会」を実施。複数のお題の中から、じゃんけんで勝ち残った3つのお題が選ばれ、「SDGs」「どうすりゃいいの」「座布団」に決定した。わん丈氏は、時事話題をベースに、選ばれた3つのお題を盛り込んだ「SDGs(仮)」を披露。見事にまとめられた噺に会場からは笑いが起こっていた。 最後は、わん丈氏による人情噺、「幾代餅」を披露。登場人物の心情が細かに表現され、「人情」がより深く心に響いた落語の余韻に包まれて、落語会は終了した。 アンケートでは「面白かった」「子どもには少し難しいようでしたが、楽しんでいました」などの声をいただいた。特に今年度は、アート便からホールへという流れができ、ホールや文化芸術に親しむを持ってもらえたという点が良かった。今後も、幅広い年代に日本の伝統文化である落語に親しんでもらえるよう、公演を企画していく。
	◆1月19日 「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 事前指導⑦」	1月21日(土)に開催する「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.4」にて和太鼓グループ彩 -sai-と共演する逗子開成高等学校和太鼓部への7回目の事前指導を逗子開成高等学校にて行った。 進行の流れや立ち位置の確認の練習を行った。
	◆1月19日 「図書館おはなし会」	1月19日(木)に昨年に引き続き、逗子市立図書館おはなし会にて、おとなのための手作り絵本講座で制作した絵本の読み聞かせをしていただいた。希望者3作品の内、午前午後の回で各1冊ずつ読まれ、おはなし会に参加した子どもたちは、熱心に聞いていた。車が出てくる場面では、「フーピー」と指をさしながら楽しそうに聞き入っていた。
	◆1月20日、21日 「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol.4 海も踊りだす漢達の祭！」開催	今年で4回目となる「和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演」を開催。今年も地元逗子開成高等学校和太鼓部との共演を行った。今年も「海も踊りだす漢達の祭！」の通り、1年を笑顔で楽しく過ごせるお祭りをテーマとし、お祭りの楽しい演目をお届けした。 前日の20日には、ホールで出演者全員で立ち位置の確認や舞台への入退場、楽器のセッティングの確認などを行った。 公演では、和太鼓グループ彩 -sai-、和太鼓グループ彩 -sai- WINGSで12曲、コラボレーションを3曲、逗子開成高等学校和太鼓部のみで2曲の計17曲をお届けした。 Vol.1、2に出演していた、逗子開成高等学校和太鼓部の卒業生が和太鼓グループ彩 -sai- WINGSのメンバーに今年から加入し、凱旋公演を行った。 アンケートでは「満足」の声が多く、「感動した」や「楽しかった」、「コラボレーションを続けてほしい」との声が多かった。今年も例年よりも多く事前指導の機会を設け、コラボレーション曲数も増やした。次年度も引き続きコラボレーション公演を行っていく。
2月	◆1月27日～30日 「はじまるはじまる原画展」「おとなのための手作り絵本講座 ミニ展覧会」	1月27日(金)～30日(月)で手作り絵本講座の講師でもある山本省三氏作、ホール紹介絵本「はじまるはじまる」の原画展と、おとなのための手作り絵本講座参加者の中から希望者の手作り絵本のミニ展覧会を開催した。 絵本の原画は8点、手作り絵本は16点を展示した。4日間で319名の来場があり、原画や手作り絵本をみなさん熱心に鑑賞されていた。 原画の展示もあったことから、こどものための手作り絵本講座のミニ展覧会開催時の約2.3倍の来場者であった。
	◆2月4日 「山田姉妹ソプラノデュオコンサート」開催	昨年度に引き続き、今年度も山田姉妹の二人によるソプラノデュオコンサートを開催。今年も、同じく市内出身の筑前琵琶奏者の藤高りえ子氏をゲストにお招きし、CDデビュー5周年記念イヤーにふさわしいスペシャルプログラムをお届けした。 チケットは発売日から好調な売れ行きで、公演日が近づくと多数のチケット購入があり、当日券も12枚の販売となった。 公演の第1部では、藤高氏とのコラボレーション曲「植生の宿」などを中心に、計8曲を披露。琵琶の音色と歌声がとても美しくかった。また、藤高氏による筑前琵琶についての説明があり、琵琶の音色の特徴などについてレクチャーがあった。第1部の最後は、山田姉妹にとって初めてのオリジナル曲「Starry Heart ～輝く心～」を披露した。「初めてのオリジナルの曲がとても嬉しい」と想いを込めて歌唱していた。 休憩を挟み、第2部では「ウィーン、わが夢の街」、「エーデルワイス」など、計4曲を披露。MCコーナーでは、来場者から募った質問に二人が回答する、「何でもクコーナー」が設けられ、「おすすめのお土産」や「双子で比べられて困ったこと」など複数の質問に丁寧に答えていただいた。 アンコールでは3曲を披露し、美しい歌声と音色をいつまでも聞いていたいというような盛大な拍手が送られた。 逗子にまつわることもお話いただきながらの公演だったため、来場者の多くの方は、額きながら聞いている様子も見られ、来場者との距離が近く感じた公演であった。
	◆2月5日 「若手演奏家シリーズ#12 SHÛREI」	逗子文化プラザホールプロデュースによる「若手演奏家シリーズ」第12弾として、県立逗子高等学校再編統合にあたり、同校を卒業し演奏活動を続ける奏者を中心に結成した木管五重奏のコンサートを開催。 第1部では、木管五重奏で有名なJ.イェール作曲の「3つの小品」などクラシックを中心に4曲披露した。第2部では衣装替えを行い、県立逗子高等学校 吹奏楽部のユニフォームである、深緑色のジャケットとネクタイで登場し、「ジブリメドレー」や「サウンド・オブ・ミュージックメドレー」など、一度は耳にしたことのある曲を4曲披露し、会場を沸かせた。MCでは、木管五重奏の各楽器の説明もあり、クラシック初心者の方もお楽しみいただける内容となった。 公演日間近になり券売が動きだし、当日券を21枚購入いただき、事前の予約分を含めると完売となったが、予約済みで来場されなかった方もいらしたため、惜しくも完売とはならなかった。 他公演と比べ10～20代の来場が多く、同級生、卒業生、元逗子高等学校の教員や近隣の方に来場いただくことができた。アンケートからは、出演者に対する応援メッセージや「楽しかった」、「素敵だった」との声をいただいた。

令和4年度 自主文化事業詳細

月	事業名	備考
2月	◆2月18日 『影絵劇「ふしぎの国のアリス」』 開催	ファミリー向け公演として、影絵劇の名手「劇団かかし座」によるルイス・キャロルの名作、「ふしぎの国のアリス」を開催。 本編約60分の上映ほか、手影絵のパフォーマンスやワークショップも行った。歌、ダンス、人形操演や手影絵など様々なキャラクターを俳優3名でこなす舞台上、観客は影絵劇を楽しんでいる様子が見られた。 また、手影絵ワークショップでは客席にて子どものみならず大人も手影絵と一緒に楽しんでいる光景見られた。 1月中旬以降から券売数が伸び、幼稚園・保育園でのチラシ配布に注力した結果、公演日前日にチケットが完売となった。公演当日に機材席を一部解放し、当日券の販売を行った。 今回WEB回答のみでアンケートを実施したが、2件のみの回答となった。次年度以降WEBのみで実施した場合でも有効な回答数が得られるよう、工夫をしていきたい。 〇才から入場できる公演や、途中での入退場が可能であることなど、今後も気軽に足を運んでいただけるような、ファミリー向けの公演を開催していく。
	◆2月22日 「アート便2022(太神楽)」 実施	今年度のアート便11校目として、久木中学校3年生を対象に、「太神楽」を提供し、講師には翁家勝丸氏を迎えた。 最初は、恥ずかしさもあってか、拍手もまばらだったが、内容が進むにつれ、技が決まると、リアクションや拍手などの反応が見られるようになった。傘回しの体験には5名が参加。傘の上で紙風船が回ると、会場からは大きな拍手が起こるなど、一体感のある催しとなった。
3月	◆3月11日 「TSUKEMEN CONCERT the BEST」 開催	今年度最後の主催公演は、ダブルヴァイオリンとピアノの3人組アンサンブル・ユニット、TSUKEMENを迎え、「TSUKEMEN CONCERT the BEST ～ Road to 15th Anniversary ～」を開催した。チケット発売日には熱心なファンの方が発売時間の前から待機しているなど、公演を楽しみにしている様子が見受けられた。 公演当日は、舞台上にTSUKEMENの3人が登場すると会場が大きな拍手に包まれた。序盤は、「チャルダッシュ」「ラ・カノン」「Take five for Elise」と続けて3曲を披露。3人によるMCのコーナーでは、「以前このホールに来たことがある」というお話を交えながら、軽妙なトークで観客を楽しませていた。 続いて、「TSUKEMENシネマドレー」では、力強い音色を奏するなど、優雅なダブルヴァイオリンとピアノの音色だけにとどまらず、その音色は、まさに『BEYOND CLASSIC』のステージだった。また、ヴァイオリンで、救急車のサイレンの音や蚊の飛び音などを表現するシーンもあり、巧みな音色遣いに、観客も驚いた様子だった。 アンコールでは「スペイン」を披露。パワー溢れるステージに、観客も盛大な拍手を送り、名残惜しそうに公演は終了した。アンケートでも「素晴らしいかったです」「楽しみにしていました」など好評の声をいただくことができた。今後も、満足度の高い公演を実施していけるよう努める。
	◆3月6日 「アート便2022(太神楽)」 実施	今年度のアート便12校目として、逗子中学校3年生を対象に、「太神楽」を提供し、講師には翁家勝丸氏を迎えた。 太神楽の芸が披露されると、大きな拍手が起こり、とても楽しんで鑑賞している様子が見受けられた。また、体験には、3名が参加。傘の上で紙風船が回ると、会場からは大きな拍手が沸き起こっていた。さらに教頭先生も生徒たちからの指名で体験に参加。一番の盛り上がりを見せていた。
	◆3月14日 「アート便2022(和太鼓)」 実施	今年度のアート便13校目として、久木中学校2年生を対象に、「和太鼓」を提供し、講師には和太鼓グループ彩を迎えた。 今回はステージではなく、体育館のフロアに和太鼓を配置し、演奏を披露していただいた。普段よりも体で感じる演奏となり、生徒たちは、その音の大きさや振動に驚いた様子だった。体験には5名が参加。バチの振り上げ方などを教わりながら、元気よく体験に参加していた。
	◆3月25、26日 共催 「逗子トモイクフェスティバル 2023」	市民交流センター主催の、世代を超えた地域コミュニティの活性化、地域間交流を通じて、「ともに学び、共に育つ『共育ともいくのまち』」の実現を目指したイベントを開催。 ホールでは25日になぎさホールで「Music Fair 2023」、さざなみホールにて、「逗葉でごきげんよう」、「校歌ができるまで」を開催。26日は、なぎさホールにて「宇宙ライブを楽しもう!」、さざなみホールでは、「コードモーション」、「演劇ワークショップ」を開催した。また、25、26日ギャラリーで「絵本とご機嫌な時間」、「逗子の昆虫500展」を実施した。 市民交流センターでの企画応募後から、企画者と内容の打合せや相談対応、ホール＆ギャラリーニュース1月号にて広報の協力、各団体のリハーサル調整等を担った。 次年度も引き続き市民交流センターと協力し、市民が活躍できる場を提供していく。
	◆3月26日 共催「コードモーション」	逗子トモイクフェスティバル2023のイベントの1つとして、講師にCGクリエイターのにじらろろ氏を迎え、さざなみホールにて、ぬり絵をアニメーションにして上映する「コードモーション」を実施した。 3つの時間帯で実施したが、どの回も、ご家族や友達同士での参加がほとんどで、ネコのぬり絵を楽しむように描く姿が見られた。じっくり時間をかけて描く参加者もいる一方、あっという間に描き終えてしまう参加者もいた。世界に1匹だけのネコのぬり絵が出来上がると、大事そうに講師へぬり絵を提出する参加者の姿が可愛しかった。 ぬり絵をパソコンに取り込み、アニメーションにする作業をしている間に、講師のにじらろろ氏が制作したアニメーション映画を上映。スクリーンの方に体を向け、集中して映画を鑑賞していた。 アニメーション化する作業が終了すると、いよいよ参加者が描いたネコのぬり絵が、スクリーンにアニメーションになって映し出された。参加者は自分のネコのぬり絵を探しながら、「あった」「いたよ」など、夢中で映像に見入っていた。 ぬり絵を返却する際には「どうして動いてないの」と保護者の方に質問をする幼児もおり、参加者にとって「ぬり絵が動き出す」という不思議な体験となったようだった。アンケートでも「子どもが主体で出来るイベントがあると良い」という声があったことから、今後も体験型のイベントを企画していきたい。